

「ハワイ大学マノア校研修 参加報告書」

京都大学文学部・西洋文化学専修2年 清水来奈

①今回の派遣に参加する以前から英語圏の地域への留学に興味を持っていましたが、このホームステイ件語学研修プログラムに参加後はますます留学への興味が増し、今まで視野に入れていなかった長期留学についても考えるようになりました。その理由は、多文化が共存するハワイという場で様々なルーツを持つ人々、異なる文化に生で触れたことで、ますます多文化への興味が湧いたこと、自分の英語圏の文化への興味がさらに高まったこと、そして、今回のプログラムで自分の語学力不足を再認識したことです。従って、長期留学も視野に入れ、京都大学の提供する留学情報を最大限に活用し、今後の大学生活について計画をたてたいと思いました。

②多くの日本人や他の様々な地域から来た人々の溢れるハワイでは、日本・アメリカ・ハワイそれぞれの文化の違いを身の回りで体験することができました。まず、これまでは漠然とハワイの原住民もアメリカ人も同じ国民性を有すると思っていたのですが、実際は真逆と言ってもいいほどに違っていました。楽観主義な点は両者に共通する点と言えますが、完全な個人主義・物質主義であるアメリカに比べ、ハワイは家族や友人を最も大切にし、自然を尊びます。しかしそれは日本の集団主義ともまた少し異なり、そうした点を比較するのはとても興味深かったです。

③今回のプログラムは主に英語によるコミュニケーション能力の向上・異文化のより深い理解に焦点を当てたものでした。まず初日のリスニングテストと面接試験により5つのレベルに分けられ、わたしは High-immediate class に配属されました。授業はすべて英語で行われました。それから3週間、毎日最初の1時間でクラスメイトとの交流を深めるための活動がありました。それから、ハワイの原住民の文化・言語・アメリカ文化との比較、ハワイの歴史、ゴミ問題について、オフキャンパスアクティビティを含めて授業で学びました。加えて、週に2回、現地学生との交流の時間がありました。

④まず、今回のプログラムに参加して改めて強く感じたのは、自分の英語圏の文化への強い関心です。ハワイには日本人が多く居るため、どこへ足を運んでも日本人を目にし、日本語を耳にし、完全に異文化を体験していると感じることは不可能でした。そのため、完全に英語しか耳にできない地域で改めて留学をし、自分の能力を向上させたいと思いました。また、短期では満足にできないことも多く、長期での留学を視野にいれたいと思いました。それから、将来的には、アメリカまたはイギリスで自分の興味のある分野の仕事に就きたいと感じました。そのためには今以上の語学力が必要であり、学部の専門分野の学習と並行して努力していこうと思います。